

# 庭の文化誌

古くから世界の各地でさまざまな庭（庭園）が造られてきました。地域によっても時代によっても、庭の在り方は一様ではありません。この講座では、現存する庭だけではなく、発掘された庭園の跡、文学作品や絵画に描写された庭も含めて、古今東西の庭の姿を紹介し、その背後にある自然観や宗教観、文化の違いについても考えます。

**日時** 平成 22 年 6 月 5 日・12 日・19 日・26 日（土）  
13:30～15:40

**会場** 県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東 1-1-71）  
学内には来客用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 内容

6月5日	白居易家の庭	柳川 順子
	発掘調査でわかった戦国時代の庭（吉川元春館跡庭園）	沢元 史代
6月12日	六條院の庭（源氏物語の世界）	西本 素子
	文献史料から見た戦国時代の庭	秋山 伸隆
6月19日	作庭の思想—平安貴族の庭から枯山水まで—	樹下 文隆
	大名庭園のなかの縮景園	松井 輝昭
6月26日	楽園としての庭—イギリス児童文学の作品から—	田淵 桂子
	描かれた「庭」—ゴッホ《ドービニーの庭》の秘密—	古谷 可由

**定員** 100名程度

**対象** どなたでも

**受講料** 無料

## 申込方法

往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③お名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、お名前（「〇〇〇〇様」）をご記入の上、平成 22 年 5 月 20 日（木）（消印有効）までに次のところにお送りください。

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71  
県立広島大学地域連携センター「庭の文化誌」係  
電話（082）251-9534

受講案内は 5 月下旬にお届けします。なお、申込多数の場合は抽選となる場合があります。  
※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

6月5日（土）

13:30～14:30	白居易家の庭	人間文化学部 柳川 順子
唐代の詩人、白居易はその晩年、洛陽に事実上の隠棲をしてその感興を詩に詠じましたが、そこには多く自宅の庭が描写されています。それらの作品を味読しながら、彼が様々な人生経験の後に得た美意識を探ります。		
14:40～15:40	発掘調査でわかった戦国時代の庭（吉川元春館跡庭園）	戦国の庭 歴史館 沢元 史代
発掘調査によって明らかになった吉川元春館跡の庭園（国名勝）についてお話しします。		

6月12日（土）

13:30～14:30	六條院の庭（源氏物語の世界）	人間文化学部 西本 寮子
光源氏の栄華の象徴である六條院には季節を楽しむことができる四つの庭があります。庭にはそれぞれの思想があり、作者が考えた栄華の本質がかいま見え、また、藤原道長を中心とする当時の貴族たちが理想とした浄土庭園の様式がうかがわれます。この講座では六條院の庭について考えます。		
14:40～15:40	文献史料から見た戦国時代の庭	人間文化学部 秋山 伸隆
戦国武将たちが暮らした城や館にも庭がありました。戦乱の世を生きた戦国武将は、庭を見ながら何を考えていたのでしょうか。大内氏や毛利氏の領国を中心に、戦国時代の古文書や紀行文に現れる庭の姿に迫ります。		

6月19日（土）

13:30～14:30	作庭の思想－平安貴族の庭から枯山水まで－	人間文化学部 樹下 文隆
平安時代の貴族の広大な庭と、たとえば竜安寺の石庭に代表されるような中世禅寺の庭とは、どのような精神構造の差異があるのでしょうか。物語や日記に記された庭の描写や庭に対する当時の人々の考え、絵画資料、図面などを紹介しながら、庭の歴史をたどる中で、日本人の庭への思いについて考えてみます。		
14:40～15:40	大名庭園のなかの縮景園	人間文化学部 松井 輝昭
諸大名は江戸時代の中頃になると、競うように江戸や国元で庭園を築造しました。これを大名庭園と呼んでいます。この講座では広島藩主浅野氏の庭園である縮景園が、全国に散在する大名庭園と比べてどのような特色があるかを考えます。また、縮景園が江戸時代後期に大改造された意味についてもお話ししたいと思います。		

6月26日（土）

13:30～14:30	楽園としての庭－イギリス児童文学の作品から－	地域連携センター 田淵 桂子
子どもにとっての「庭」とは、どんな場所なのか－オスカー・ワイルドの『わがままな大男』、C・S・ルイスの『ナルニア国ものがたり』、フィリパ・ピアスの『トムは真夜中の庭で』など、イギリス児童文学の作品の中で考えていきます。		
14:40～15:40	描かれた「庭」－ゴッホ《ドービニーの庭》の秘密－	ひろしま美術館 古谷 可由
ひろしま美術館所蔵ゴッホ《ドービニーの庭》（1890年）は、「庭」を描いた作品です。この作品をはじめ、古来西洋美術ではさまざまな形で「庭」が描かれてきました。その伝統を遡ることで、ゴッホのこの作品に込められた「秘密」にせまります。		